

SUNDAR PICHAI

AN UNUSUAL ANGLO-CALABRIAN PROPOSAL

A Letter to Sundar Pichai



FERDINANDO FREGA

GOOGLEのSUNDAR PICHAIへの手紙

SEMANTIC REALITY 2026 · SHAREHOLDERS 08

Sundar Pichaiへの手紙。

イタリア、カラブリア — 2026年9月21日

宛先：Sundar Pichai、最高経営責任者、Google & Alphabet Inc.,
1600 Amphitheatre Parkway, Mountain View, CA 94043, USA.

CC：インベスター・リレーションズ・チーム (*investor-relations@abc.xyz*)

件名：アングロ・カラブリア流の風変わりな提案

親愛なるPichai博士

多くの人があなたに手紙を書いていることは承知しております。経済的な力と知性が、高い知的水準を備えた洗練された若い男性 — しかもアングロ・インディアンのような新興の文化から来た人物 — と出会うとき、誰がどんな依頼や考えを口にしても、それは持続可能なものになります。

私のは単なる申し出であって、依頼ではありません。私は無に等しいもので生きている男で、それで十分なのです。月70ドルです。

それはともかく、あなたは私の注意を引いた二人目のインド出身の方です。ですが、よくある台本どおりの話をするつもりはありません。私は俳優ではありませんし、芝居もしません。

インドのもう一人の息子、あなたと同じくらい有名な、ナンバーワンの方に捧げた本の電子書籍を、喜んで共有し、添付いたしま

す。Shailesh G. Jejurikar社長（Gillette CEO P&G 2026）です。

あなたの国の男たちには、二位という順位は想定されていないようです。

あはは。

あなたのWikipediaのプロフィールで、ご経歴の中にMcKinsey & Co.の経営コンサルタントとしての職歴があると読みました。構造と資産配分の面で私がよく知る会社です。私がGilletteにいた2003年以前、DURACELLの買収後にMcKinsey USAがデータを処理して新しい資産構造を組み立てられるよう、特定のデータベースを提供するよう求められました。しかし私たちは1年近い遅れを生じさせました。THE GILLETTE MENは複雑な人間だったからです — どこにでもいるような人たちではありませんでした。

私は、ありのままで透明であることを愛しています。

私の依頼は、先駆的な認知の建築に出会うものです。スタイルにおいて正確ではありませんが、唯一のものです。

私は自分のサイトgillettenarrative.comに、わずか4か月の期間で広告バナー10枚を提供いたします。そして、表と裏に署名された1ドル紙幣のお届けをお願いします。それが私の移行の価値です。

あなたの申し出は、順番として4番目になります。P&Gの後、VATICANの後、WARREN BUFFETTの後に、あなたが来ます。

BERKSHIREに送った手紙の写しはウェブ上でも公開されており、類推によって、あなたのGOOGLEへの同一の申し出となります。変えるべきは日付だけで、あとは契約の署名と1ドルの支払いです。

あなたからの合図を、願わくは好意的なご返事をお待ちしております。そして人として、私が何者かという問いがまず心に浮かぶのであれば、その答えを先にお渡ししておきます。

Frega Ferdinandoとは、存在するとは誰も思わない、それでいてまったく現実にいる者にすぎない。

Ferdinando Frega
BLADEFREGA・書記Nando